

令和7年度 9月補正予算案の概要

令和7年8月20日
8月市長定例記者会見 資料

財政課 21 - 8765



補正予算案の概要

会計別	既定予算額 (6月補正まで) (A)	9月補正予算額 (B)	9月補正後予算額 (A+B)
一般会計	1,074億9,826万1千円	4億8,198万8千円	1,079億8,024万9千円
特別会計	965億3,007万1千円	631万2千円	965億3,638万3千円
公営企業 会計	350億3,300万円	—	350億3,300万円
合計	2,390億6,133万1千円	4億8,830万円	2,395億4,963万2千円

補正予算案の主な事業

ひとり親家庭等のための手当の電子申請化に向けたシステム改修 165万円

県内初

ウェブ上で子育て等の手続きを案内している「手続きナビ」で、ひとり親家庭等に向けた手当や助成が受けられるか判定できるようにするため、システムを改修します。ナビの改修と並行して、電子申請システム(e-kanagawa)で手当や助成を申請できるよう準備します。

手続きナビ:簡単な質問に答えていくだけで、自分に必要な手続きが分かるサービス

Before 窓口での手続きが前提

制度の複雑さから、手続きには電話や窓口での多様な聞き取りが必須。

After 自宅などで隙間時間に手続き

「手続きナビ」で複数の質問に答えることで、申請できるかどうかをナビが判定。ナビの回答に従い、オンライン申請に進み、**窓口に来なくても手続きが完了。**



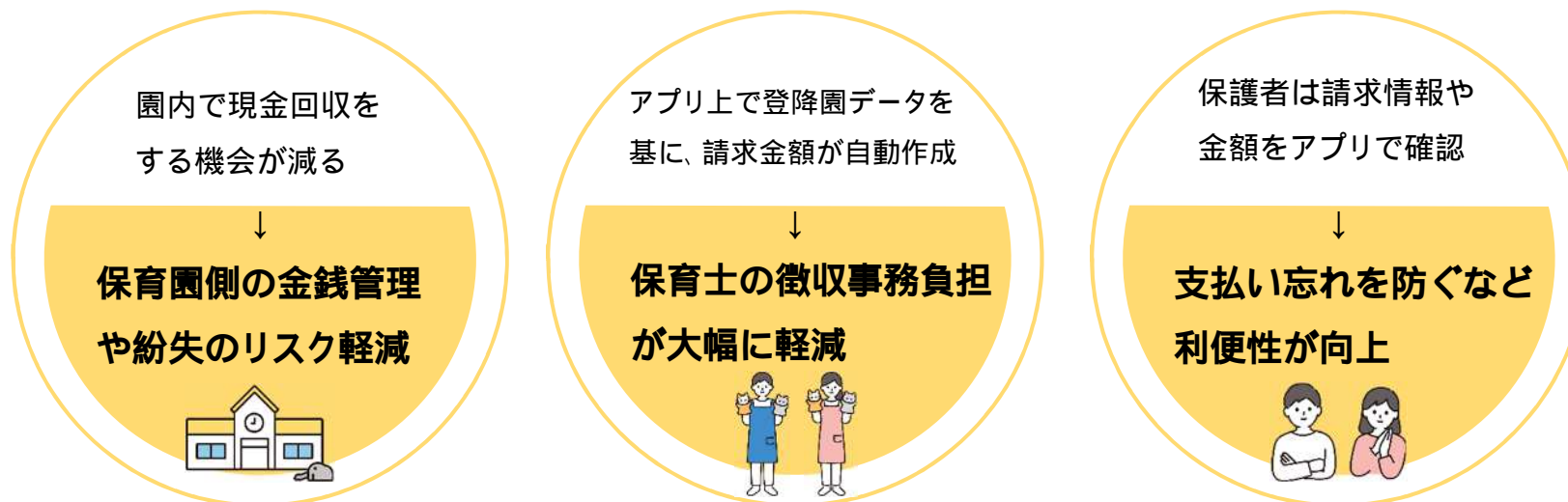
補正予算案の主な事業

保育園業務支援システム(コドモン) アプリ機能の拡張

55万円

アプリ機能を拡張することで、公立保育園の主食費や延長保育料の口座引き落としが可能となり、お金のやり取りがスムーズになります。

アプリ: 保育・教育施設向けの業務支援ツール。平塚市は令和5年度から導入



シャトルバスの路線再編

819万2千円

平成17年1月から運行を開始した、大神～市民病院を結ぶシャトルバス。20年が経過し、地域を取り巻く環境の変化や本市の交通課題に対応するため、より利便性の高いコミュニティバスへと、運行ルート进行再編します。

- 新ルートでの運行開始時期は令和7年12月を予定
- 田村車庫を始点とする市民病院への既存ルートを概ね維持し、旭地区から市役所・保健センターを繋ぐルートを新設
- 再編に伴い、既存バス停を整理・改修し、交通系ICにも対応

